



学校だより



青梅市立東小中学校
令和5年度 第5号
令和5年9月21日

全力で感動の2学期にしよう！

校長

25日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。久しぶりにあった子供たちの姿は、日に焼けていて体が大きくなり、たくましくなったように思えました。きっと夏休みに寮生活で様々なことを体験して成長したのだなと感じました。寮の先生方、ご指導ありがとうございます。

さて、2学期は運動会などの行事やクラブの大会など様々な取組があります。学習面でも毎日の授業のほかに中間テストや期末テスト、中学3年生は受験勉強など大切な学習があります。それぞれの取組に目標をもって努力をしてほしいと思います。2学期は1年間の中で大きく飛躍する学期です。努力をすればするほど伸びていきますので全力で取り組んでください。

先日の水泳大会は、この全力で取り組んだ姿がたくさん見られた大会でした。練習以上の結果を出した人が大勢いたことと思います。「やればできる」という自信をもってください。児童・生徒の皆さん、一人一人の努力で感動をする2学期になることを期待しています。

最後に、2学期も学園、寮、学校で共に連携をしながら子供たちの教育を担っていきたいと思います。ご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1学期の学校生活振り返りアンケートから

1学期末に、児童・生徒の皆さんに「1学期の学校生活振り返りアンケート」を実施しました。今回のアンケートの質問項目は、全部で12項目。朝、各寮から学校に登校して授業を迎えるまでの学校生活に関する内容になっていました。

その結果から分かったこととして、傘や上履きを丁寧に使うことは、しっかりできている人が多かったです。また、玄関での大きな挨拶もできている人が多かったです。

一方、点呼場や教室移動時にキョロキョロしてしまう人が多いという結果となりました。キョロキョロしてしまうということは、自分のやるべきことに集中できていない、ということです。その場でやるべきことをしっかりと、より良い学校生活を送りましょう。2学期も皆さんのさらなる成長を期待しています。

お詫び；学校の都合により、8月号の発行が遅れまして申し訳ありません。

令和5年度 水泳部の活動 関東少年水泳大会

「水泳部として、代表として“覚悟”をもってください！」という言葉とともに、今年の水泳部がスタートしました。「素直な姿勢」「気持ちの切り替え」「諦めない強さ」「代表としての振る舞い」を自覚ではなく“覚悟してください”と言った顧問の先生方の意味を直ぐに理解した生徒たちは、初日から、エンジン全開で、水泳部にかける本気さを見せてくれました。プールサイドでの挨拶から、開始・終了の号令、練習中の返事もパワフルな声を出し、普段なら弱音が漏れてしまうようなメニューでも、息を上げながらもポジティブな雰囲気を作り上げました。生徒一人一人が目標をもち、自分自身と向き合いながらも、周りの生徒から良い刺激を受け切磋琢磨する姿が、とても素晴らしかったです。

大会当日は、横浜国際プールで開催されました。生徒たちは本格的な会場に圧倒されながらも、「自分自身との勝負なんだ！」「自分の成長を發揮するんだ！」という良い表情をしていました。競技に入り自分の名前がコールされると、気合十分の「ハイ！」という返事が離れたこちらまで届き、それに答えるように応援席の生徒たちからの「ファイト！」「頑張れ！」というエール。水泳部が学年や性別を超え一丸となり、頑張り励まし合う姿は見ていて本当に気持ちの良いものでした。この熱気がそのまま成績にもつながり次々と上位入賞を果たしました。4年ぶりの出場となった今回の結果は女子総合第3位、男子総合準優勝という素晴らしい成績を残すことができました。

本当によく頑張ってくれた生徒たち、彼らは記録や泳力以上のものを得てくれたと思います。

- ・「励ます・励まし合う」ことの大切さを学びました。言われるたびに「頑張ってたかった」「もっと頑張ろう」という気持ちにつながって元気がでました。元のクラブでも活かしていきたいです。
- ・昔の自分に「やり切ったぞ！」と語りかけたい気分です。入る前より一つ一つに自信がもてたり弱音を吐かずに物事に取り組めたりと、水泳部は自分を変えてくれました。
- ・苦手なことに向き合うことができました。一人の入賞を全員で喜んで、一人の悔しさを分かち合った。この支え合いは準優勝以上の価値があります。
- ・努力する大切さ、応援してくれる仲間の大切さがわかりました。この水泳部のメンバーで活動できて本当によかったです。
- ・一人一人のスタート台に乗った時の顔、夢中で泳ぐ姿、どれをとってもみんなが輝いていました。自分のレースは不思議と緊張感はありませんでした。それはきっと仲間の応援があって、寮の先生の「泳ぎ切ってこい」という温かいエールがあったからだと思います。みんなの頑張り、泳ぎを見て感動しました。
- ・辛いことなど最後までやらず、途中で辞めたりしていた自分が、最後までやり切れるんだと思えたことがうれしい。
- ・代表にふさわしい言動を心掛けました。話を聞かず重要なことを逃しやり過ごす自分でしたが、今は全くなくなりました。
- ・何かの目標に向かって全力で頑張ることの楽しさ、それを達成した時の達成感を知りました。辛い時は「水泳部で乗り越えられたんだから大丈夫」とあきらめずに、更に上を目指していきたいです。
(生徒の感想分より)

水泳部では、泳力や記録が伸びるだけでなく、学園での生活においても向上していったほしいと考えています。この水泳部での経験を自信に変えて、東小学校、東中学校での生活を頑張りたいと思います。

体育の授業や、各寮でのご指導等、お力添えいただきありがとうございました。